

緑の宝



2006
秋号
No.40



協会設立40周年記念「2006 緑・花ふれあい写真コンテスト」入選 「秋桜とのふれあい」望月 政子(静岡市)

目 次

環境森林部森林総室長あいさつ	P2
研修・講習等についてのアンケート結果	P3~4
緑のクリニック事業・奥大井接岨湖フェスティバル	P5
静岡県環境森林部 自然ふれあい室	
秋の森づくり県民大作戦	P6
静岡県都市住宅部公園緑地室	
チエンマイ国際園芸博覧会「ロイヤル フローラ ラーチャブルック 2006」	P7
静岡県農業水産部みかん園芸室	
「花咲くすおか」運動県民大会	
フラワー・フラボーニングコンクール	P7
支部だより(東部支部)	
「道路ふれあい月間」「道の日」	
道路美化清掃奉仕	P8
支部だより(中部支部)	
「道の日」恒例の道路美化清掃活動参加	P8
静岡農高生とボリテクセンターで	
「知識・技能講習」「静農高現場実習」	P9
支部だより(西部支部)	
「道の日」道路美化清掃奉仕	P10
技士会だより	
カタクリ	P10
協会日誌・お知らせ・新図書の案内	P11
話題の森	P12

総室長あいさつ



環境森林部森林総室長

小松 敏行

日ごろより、会員の皆様には、緑豊かな住みよい県土づくりや緑化技術の発信など静岡県の環境緑化、森林・林業行政の推進にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。静岡県内の森林の約六割を占める人工林では、五〇年生以上の高齢級林分が急増しつつある反面、手入れが遅れ、未だ間伐などの施業が必要な育成段階にあります。これに対し、一般県民からは広葉樹などの樹種の多様性を求める声が高まるとともに、竹林の拡大や松くい虫被害、台風による倒木被害など、身近な森林景観の悪化が新たな問題となっています。

静岡県では、このような景観の再生を進めるため、各地で「彩り豊かな森林景観づくり事業」や「放任竹林整備事業」などを実施し、多様な森林景観の保全、形成の実現に努めるとともに、森林開発事業者の景観保全への配慮などを内容とする「静岡県森林景観形成ガイドライン」の策定、企業による森づくり支援などを進めています。

今年度からは、森林(もり)づくり県民税を財源とした「森の力再生事業」を開始し、公益性が高く、荒廃している緊急性の高い森林について、民間との協働により混交林化や広葉樹林化を促進し、土砂災害の防止、水源涵養などの「森の力」の回復を支援してまいります。

美しく豊かな森林との共生のためにには、まずは緑の担い手である会員の方々に、都市近郊林における景観の形成や

里山の機能回復など、地域の植生を熟知した緑化技術、組織を活用した連携に期待しているところであります。また、自然力を活かし広葉樹などが生育できる状態を確保しながら、経済性とのバランスを保つ手法などに関して、生態系全般にかかる技術のプロとして、地権者への提案をお願いいたします。

林業や森林管理の技術者が減少する中、今後も誇りある郷土の森林を継続して適正に整備する必要があります。そこで、街路、都市公園、庭園などの皆様の活動範囲をさらに広げいただき、海岸林の整備から奥地の森林の保全に至るまで、豊富な経験と卓越した技術をもとにした積極的な企画提案や技術の提供、管理への参加をお願いします。結びに、県民の方々が緑に対する意識をさらに高めていきながら、貴協会がいつそうの飛躍をされ、会員の皆様がますます御発展されますことを祈念しまして、私のあいさつといたします。

秋の樹

モジバフウ (マンサク科)

葉の形がモジに似ているところからこの名がある。暖地でもまれに紅葉する。金平糖のような果実も面白い。都市環境の中でも見事に紅葉する。

●落葉高木二千~三千m ●陽樹

●湿潤地を好む ●成長早い

●南芽力あり剪定に耐える

●移植容易

●大気汚染・潮風に強い



◆観賞花(八月)・紅葉(十一月)

◆用途 公園樹・街路樹・並木

◆植地 本州(福島県以南)・四国・九州

◆繁殖 実生

◆その他葉の切れ込みは五十七裂



研修・講習等についてのアンケート結果 (平成18年8月29日)

集計表

大項目	番号	中項目	全県	東部	中部	西部
専門技術講座 110	1	新技術	34	11	17	6
	2	樹木医学	31	11	12	8
	3	基本設計・実施設計・工事積算	17	4	9	4
	4	施工管理	7	2	2	3
	5	公園等運営管理	16	8	4	4
	6	その他	5	2	0	3
講演会 26	7	新技術	11	3	4	4
	8	造園技術等の現状と今後の展望	10	2	3	5
	9	その他	5	2	1	2
実技研修 30	10	街路樹の管理	7	2	2	3
	11	デザイン	10	3	5	2
	12	ベランダ園芸	4	0	3	1
	13	その他	9	2	5	2
事例・研究発表会 26	14	デザイン	8	3	3	2
	15	庭園	8	3	2	3
	16	街路樹	2	0	2	0
	17	公園の管理運営技術	6	2	2	2
	18	その他	2	0	1	1
その他 5	19	その他	5	1	2	2
計	197		197	61	79	57

技術委員会では、去る七月二〇日の第一回技術委員会の討議の結果、今後の取り組むべき研修・講習会等を進めて技術の向上を図るために、アンケートを取ることに決定。
九月五日の第三回委員会ではアンケート結果を踏まえ、要望の多かった新技术のうち、屋上壁面緑化工法について知識を深め、最新技術を学得することができました。
アンケート結果を参考にしていただければ幸いであります。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果が出ました

委員会だより

技術委員会が取り組む研修・講習等についてのアンケート

問6 研修・講習等に対するご意見、技術委員会の活動についてのご意見・ご希望

東 部

○県の森の力再生事業の現状と企業としての参入方法

○今現在、庭に木を植える人がだんだん少なくなっています。やはり、庭は憩いの場になって欲しい。植栽を推進するためにはどうしたら良いのか。環境問題にも係つてるので、進めていく方法を考えていく研修をお願いします。

○役員、関係者の皆様、いつもご苦労様です。今後ともよろしくお願いします。

○シニアアワーに教えるのも良いが、県造協の市町村で地域の造園屋と一般の人達4~5人ぐらいでミニ庭園みたいなものを造り、表彰などしてやれば大会らしくなるのではないか。

○非常によく活動していると思っております。今後とも、宜しくお願ひいたします。

○現場で役立つ専門知識の講演会をこれからもお願いします。

○緑の必要性を訴えられる根拠が欲しい。

中 部

○室内及び実技での講演会の実施

○議論するものは、素人に対してのものではなく、あくまで「プロ」に対しての質の高いものを行なって欲しい。

○何故、いま屋上緑化・壁面緑化等必要なのか?根本的なところ(地球温暖化防止)の勉強会、講演会をもっとすべきだと思う。

○これからも、時代のニーズに合った講演会等をお願いします。

○樹木医資格について、①もう少し近い所②夜間の利用③短期にてなど毎日の仕事を持っている者が取りやすいように!

○技術向上という名目で、各地で研修会が盛んに開催されていると思われます。形式ばかりにとらわれて、真意がよく伝わっていないのではないか。造園绿化事、その後の樹木管理等、なにが正しく、なにが間違っているのかを判断できるには知識の世界だけではなく、経験と技術も伴わなくてはと思います。バブル経済の絶頂期の頃、盛んに施行された造園绿化工事、脱サラ庭師、シルバーセンター等が多く誕生し現在に至っている現状で、公園、街路に植えられた樹木などを見た時の、的確な場所に植栽されたのか、その後の管理の(特に剪定)仕方等…。疑問に感ずる事が多くあります。我々、绿化工事に携わる者はもとより、発注する側も勉強不足があるのではないかと強く思います。

西 部

○以前に増して、新たな資格が必要になることがありますので、案内、講習会等をお願いします。

○活動報告(技術委員会)を「緑の宝」で発表することは?

○若手造園者に役に立つ、又は残していく様な技術を受け継ぐ活動を望みます。

アンケート調査結果表（82社）

技術委員会

大項目	番号	中項目	内訳
専 門 技 術 講 座	1	新技術 34	・屋上、壁面緑化(19)・修景施設(造根)(1)・錆をアピールできる技術(工法)(1) ・アトリウムの水耕植栽(1)・自然環境復元技術(5)・現在の建物に合った庭づくり(1) ・室内における緑化(1)・特殊空間緑化(1)・幅広く知識を習得したい(1) ・屋上、壁面緑化について建築関係者を交えての勉強会(1)・雑誌型庭園(1)
	2	樹木医学 31	・害虫、病気と対処法(病害虫防除法)(10)・老木の樹勢回復技術(3)・枯死について(1) ・判別が難しい病気などの事例や対処法(1)・花を咲かせる方法(1)・農業(1) ・マツクイムシ以外のマツ枯れ対策(1)・里山整備(1)・除草剤のメカニズム(2) ・樹木生理学等の実技(1)・枯損樹木、落雷木等の修復術(1)・花、実についてのメカニズム(1) ・樹木の生息系(1)・腐朽処理法等枯損原因調査(1)・温暖化に対応した手入れ、植栽について(1) ・樹木診断、治療、予防技術(1)・樹木医学の変遷(30年前と今)(1)・街路樹などの病気と治療(1) ・樹木活性方法(1)・樹木の病理学と対処方法(1)・薬品についての知識(1) ・老木の外科的整形及び土壌改良等(1)・病害、樹形復元(1)
	3	基本設計・ 実施設計・ 工事積算 17	・積算講習会(実際に行う)(2)・オートキャド(造園)(1)・外構工事の積算(1) ・特殊な(一般的な歩掛がない)工事等の積算のコツ(1)・積算樹種、樹木の選定方法(1) ・基本設計(1)・実施設計(2)・満足度の高い、高い設計について(1)・諸経費率の内容(1) ・CADによる設計(1)・管理についての積算(1)・実施設計(民間)(1)・屋上緑化、壁面緑化の設計(1)
	4	施工管理(工程管理、 品質管理を含む) 7	・品質管理(2)・役場提出書類、出来形管理図等(パソコン入力等)(1)・工程管理(2) ・建設年数が少なくても理解できるもの(1)・電子納品(1)
	5	公園等管理運営(指定 管理者制度、管理運営 マニュアルなど) 16	・指定管理者制度(5)・公園等管理運営全般(2)・運営している人の話(1)・管理計画等(1) ・管理運営マニュアル(2)・小規模企業社でも仕事を受ける方法(1)・指定管理者制度の功罪(1)
	6	その他 5	・防災(防災公園、防災緑地、避難地等)の視聴に関わる講演会や管理運営に関わる講座(1) ・竹林整理(1)・葉剝蔽除についての対策と方法(1)・農業、除草剤等の知識(1) ・緑化資材のリサイクル関係(1)・ビオトープ(ホタルのせせらぎ)(1)
講 演 会 26	7	新技術 11	・芝地除草(1)・不適時の移植方法(1)・室内緑化(アトリウム)(1)・樹木と草花の混合植栽技術(1) ・リサイクル的な技術や工法(1)・屋上緑化(1)・壁面緑化(1)・自然環境復元(1)・雑誌型庭園(1) ・デザインについて(1)
	8	造園技術等の現状と 今後の展望 10	・造園工事及び管理に関するコストダウン(コストを抑えながら品質を維持・向上する技術)(1) ・草が出にくい、管理しやすい庭づくり(1)・農薬使用の現在とこれから展望(1) ・発注者側と施工者側双方のレベルの向上(1)・街路樹、並びに公園樹木のあり方(1) ・病害虫、誰葉防除(1)・造園(1)・建築物との融合(1)・造園技術(基本的から伝統的まで)(1) ・錆のまちづくり(1)・伝統的な技術を生かした新しい方向性(1)
	9	その他 5	・講演(2)・対談(2)・討論、ワークショップ(1)
実 技 研 修 30	10	街路樹の管理 7	・安全管理の方法(1)・高木剪定(3)・樹種による剪定方法(3)・病害虫駆除方法(1)
	11	デザイン 10	・修景(工事緑化)(5)・小庭(2)・外構、アプローチ(1)・樹木と草花の配置(1)
	12	ベランダ園芸 4	・水やり(1)・採光(かぎりなく少なくするアイディア)(1)
	13	その他 9	・水等高の作り方(1)・作庭に関する伝統的技能技術(1) ・肥料、PH等の影響、結果(時期、回数、種類等)(1) ・屋上緑化、壁面緑化(1)・枯損樹木、落雷木等の修復術、樹木生理学等の実技(1) ・竹垣の作製方法(治津垣など)(2)・石組み技術の事例視察、基礎的な勉強会(1)・石積み(1)
事 例 研 究 發 表 会 26	14	デザイン 8	
	15	庭園 8	・伝統的な技術(1)
	16	街路樹 2	
	17	公園の管理運営技術 6	・大型テーマパーク緑化管理方法(1)
その 他 5	18	その他 2	・一般庭園物(往來)の処理等について(1)・諮詢(1)
	19	5	・県内工事優良表彰を受けた業者の講演(研修)会(1) ・屋上緑化事例視察(1)・スクールワークについての講座、現場見学会(1) ・学校、幼稚園等のグラウンドの芝生化を手がけて成功している行政、施工者の事例(1) ・1~2日間程度の特別教育による資格取得(費用を安くして)(1)・海外視察(1)
計		197	

緑のクリーテック事業

緑のクリーナー事業が感謝されています。この事業はグリーン・バンクが行なった緑化の育成管理状況を会員の皆さんで巡回しながら診て施設管理者にアドバイスをするものです。昭和五七年度から始まって、今年で二五五周年になります。今年は完成後一〇〇年目と三年目の県下十三市二町の三〇箇所を巡回しました。

西部支部巡回指導



たり枯れているところもあつた。
樹木は、建物等の構造物とは違
い、ただ植えておけば良いもの
ではなく、適切な管理を行うこ
とににより良い形に成長し整えられ、視覚的にも感覚的にも人々を癒すことになると思う。



主催は長島ダム・森と湖に親しむ句間・全国行事現地実行委員会(会長・杉山嘉英川根本町長)。

フュースティバルは国土交通省と
林野庁が制定した「森と湖に親
しむ旬間」(七月二十一日～三
十一日)に伴い実施されている
全国行事。今年は二〇周年記念
を迎えて、長島ダム周辺で多彩
なイベントを交えて開催された
もの。

賛)が川根本町「長
ら一、〇〇〇人の
の自然を満喫した。

奥大井接岨湖フェスティバル

奥大井接岨湖フェス

したがつて、せつかく植えた以上責任をもつて管理を適切に行つてもらいたいと願う。また二十一七日には富士・富士宮の四箇所

を木村、望月、小林で同じよう
に巡回指導を行いました。●



郷土種記念植樹(ヤシャブシ、カエデ、アカシデ、ケヤキ、ヤマボウシ、コナラ)

加、来場した多数の下流の都
側住民が、果たして上流域の
開催され、二日間で県内外か
れて大井川上流の緑と清流

当協会は都市・中間地域の「緑を中心」に活動しているものの、「緑」の大切さ・必要性を知つてもらひ、理解し、慈しむ心を育むよう啓発推進する活動は共通した課題を持つている。シンボジョウムでみなみらんぼう氏が述べた「川はだれのもの?」緑はだれのもの?にも其を通すると思われるが・こという言葉が印象に残っている。●

秋の森

県民大作戦



【今年の秋の大作戦】

エントリー行事は、十月上旬～中旬にリーフレットとして取りまとめられ、県農林事務所・JR主要駅等に配架します。また、左記のホームページにも掲載する予定です。で、是非ご覧ください。

る動植物を守り、人々にさまざまな楽しみを提供することを目指して、「榛原ふるさとの森」を整備しました。この森で、十一月十一日（土）、森林と親しむイベント「ふるさとの森で遊ぼう」を開催します。

午前中は、森林インストラクターの指導のもと樹木の観察、午後はネイチャークラフト（ドングリなどの森の素材を使った工

○申込み・問合せ先
静岡県志太榛原農林事務所 森林整備課
参加ください。

る施設となるようお手伝いをしています。吉田公園では、九月から静岡県グリーンパンク主催「緑化ボランティアリーダー育成研修」が開催されています。この研修では、緑化ボランティア活動をしている方や今後どちらかの社会貢献活動を開始しようと考えている方が、地城の緑化リーダーとなって活躍していただきたい、と考えています。昨年度に続き二回目となる今年度の研修は、花壇づくりの実践にも取り組んでいます。研修生自らがデザインした花壇を十月上旬に植え付けてますので、お越しの際はぜひお立ち寄りください。

「森の恵みを、次代へ！」

い。●
美味しい木、様々な動植物たち、そして四季の彩り。これらの豊かな恵みを次代へ手渡していくために、多くの手と想いが集まります。“秋”的大作戦は平成十五年度から始まり、今年で四回目となります。十日(金)十一月三十日(木)の期間中は県内各地で森林関連イベントが一齊に開催されますので、皆様奮って御参加ください。

【森づくり県民大作戦とは】

森づくり県民大作戦は、春と秋の年2回、ボランティア団体・企業行政等が、森林関連イベントを一齊に開催して連帯感と自ら指揮しています。



椎茸原木の伐採・玉切体験

“ふるさとの森”で遊ぼう

「榛原ふるさとの森」

富士山麓岡空港建設地の西側に位置する

緑化ボランティア育成研修



棟原ふるさとの森 大久保の棚田

三県営吉田公園

県自然ふれあい室では、緑化活動を行っている団体と、学校や医療・社会福祉施設等が、花と緑を通じて交流し、美しく潤いのあ



研修の様子
デザインや管理方法を確認しながら学びます

みなさんも秋のすがすがしい空気の中で、花と緑とふれあう時間をもってみませんか？現在、地域で活動している緑化グループのご紹介もいたしますので、興味のある

○問合せ先 静岡県自然ふれあい室
○電話 ○五四・二三一・二六八一

静岡県都市住宅部公園緑地室

チエンマイ国際園芸博覧会「ロイヤル・ラーラーチャフルック二〇〇六」

平成十八年十一月一日から

平成十九年一月三十一日までの

三ヶ月間、タイ王国チエンマイ市

で国際園芸博覧会「ロイヤル

フローラ ラーチャフルック二

〇〇六」が開催されます。今回

の国際園芸博覧会は、ブミポン

国王の世界で最も長い在位六

〇年とご誕生八〇年をお祝い

することを目的に開催される

もので、熱帯に生息する一、二

〇〇種、二五〇万株以上の植物

をはじめ、世界三十二カ国から

様々な庭園が展示され、静岡県

からも国及び三十八地方公共

団体等と「富士山モチーフ」と

した回遊式日本庭園を共同出

展いたします。

また、会期中の一月十三日、

一月十七日が「ジャパン・フェスティバル」と定められ、文化交流を

中心としたイベントがおこなわ

れます。

静岡県としては、開催期間中

に、世界文化遺産登録を目指す

富士山を、映像や写真で紹介す

るとともに、ジャバソ・フェスティ

バルにおいて、静岡県の祭りを

再現するアトラクション「遠州横

須賀・三社祭礼囉子(県指定無形文

化財第一号)」や

緑茶サービスを行

うなど、本県の魅

力をアピールし、

タイとの交流拡

大を開いていた

いと考えております。

なお、静岡県で

は、富士山静岡空

港の就航予定先

であるタイ王国

に国際チャーター

便の運航(二月十

二日)、一月十六

日予定)を予定して

おります。また、

（社）日本公園緑

地協会、（財）都市

緑化基金もタイ

王国への視察研修

旅行(一月十一日

一月十七日)を

お願い申し上げます。

（その一）花咲くしづおか運動県民大会

（その二）フラワー・ラボ 一・コンクール

花と緑にあふれた美しい県づくり

をすすめる「花咲くしづおか」運動の県民大会を開催します。

平成十八年十一月二十七日(月)

平成十九年一月三十一日(月)

（JR東静岡駅）

グラシップ十一階会議ホール「風

（浜松市立佐久間小学校）

○平成十八年度花咲くしづおか

花いっぱいコンクール表彰式

○コンクール入賞者による事例発表

○講演「暮らしに根付いた花のある風景」（普段のくらしに花が生きるヨーロッパの町並みから）

（講師）阿比留みどり

（株式会社ヒューマンコム）（ケンシヨンズ代表取締役）

（企画プロフィール）

財團法人地域活性化アドバイザ

（伊豆市立大見小学校）

●結果概要

大賞 最優秀賞

（浜松市立泉小学校）

静岡県知事賞（優秀賞）

（浜松市立泉小学校）

下九一校を対象に審査を行いました。

FBCとは中部七県一市と中日新聞社で主催する、小中学校を対象とした学校花壇コンクールで、県下九一校を対象に審査を行いました。

（伊豆市立大見小学校）

特別賞

（伊豆市立大見小学校）

日本が出演する「回遊式日本庭園」のパース(案)



大賞：浜松市立泉小学校の様子

静岡県農業水産部 みかん園芸室

企画しております。
この機会に、日ごろ都市緑化行政、景観保全行政、公園設計、造園工事等に携わっておられる方々をはじめとして造園・緑化事情にご関心をお持ちの方々に多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

（その一）花咲くしづおか
（その二）フラワー・ラボ
一・コンクール

平成十八年度フラワー・ラボ
一・コンクール(FBC) 秋花壇の受賞校が決定しました。

支部だより

平成十八年度「道路ふれあい月間」及び 「道の日」道路美化清掃奉仕

東部支部



三島市国道1号

広く、美しく、安全な道路を維持するため、一般道路利用者及び各種関係団体の参加協力を得て道路美化清掃活動を実施し、道路愛護思想の普及を図る。ことを目的に行なわれた、各地区の報告について

は、次のとおりである。

● 小山町「道の駅」

平成十八年八月十八日に実施。総勢九十名。参加者については、国土交通省、小山町、小山町建設業協会、トラック協会、静岡県造園緑化協会。当協会からは、五名の参加。



富士市国道1号「道の駅」富士

平成十八年八月十八日に実施。総勢五十一名。参加者については、国土交通省、富士市建設業協会、トランク協会、土木施工管理技士会、東京電力、静岡県造園緑化協会。当協会からは富士、富士宮の十四名参加。国土交通省の担当者の挨拶後、袋を渡された後、清掃が本格的に始まる。道の駅内及びその周辺のゴミ拾いと植栽帯の草取りを行つた。その後一時間程度の作業であった。その後小山町の課長より挨拶があった。最後に小山町の課長より挨拶があり、この日の活動は終わった。



富士市国道1号「道の駅」富士

平成十八年八月二十三日に実施。総勢八十名。参加者については、国土交通省、三島市建設業協会、トラック協会、静岡県造園緑化協会。当協会からは、三名の参加。国土交通省の担当者の挨拶後、二班に別れ、袋を渡された後清掃奉仕。袋を渡された後清掃奉仕が始まる。例年わかれ緑化協会では剪枝機を使い、道の駅内の低木の刈り込み作業を行っています。「道の駅」富士は交通量が多く利用者が多いので車に十分注意しながら作業を進めました。



入念な打ち合わせ



私にまかせてください

が始まる。われわれが行った場所は、国道沿いの左カーブ脇の駐車場である。その場所及びその周辺のごみ拾いと草取りを行った。その間約二十分钟左右の作業であった。

● 富士市国道1号「道の駅」富士 平成十八年八月二十三日に実施。総勢五十七名。参加者については、国土交通省、富士建設業協会、トランク協会、土木施工管理技士会、東京電力、静岡県造園緑化協会。当協会からは富士、富士宮の十四名参加。国土交通省の担当者の挨拶後、袋を渡された後、清掃が本格的に始まる。道の駅内及びその周辺のゴミ拾いと植栽帯の草取りを行つた。その後一時間程度の作業であった。その後小山町の課長より挨拶があり、この日の活動は終わった。

あると思われるが、今回は主にただ関係団体のみで行っている感がある。ボイ捨て等を防ぐ方向にも走っていくためには、この清掃活動に一般の方々をも巻き込み、さらなるPRしながら行う必要がある。個人的にはこのような清掃活動を行うと活動前後でけいになるため、それなりの満足感はあった。(渡邊豊、東部支部長)

中部支部

本年も八月十日の道の日恒例行事となる道の駅美化清掃が、「道の駅」宇津之谷峰上線および清水区興津の国道1号上り線の二箇所にて実施されました。

国土交通省等各道路管理者および各種関係団体、そして緑化協会員の参加により一時間ほど清掃活動を実施しました。

「道の駅」では当協会業者十五社(二十四名)が参加し、草刈り・生集まる場所の割りに、樹木管理があまりされない、という感じが作られました。造るだけではなく、その後の管理面においてもう少し計画的実施していくなければと思いました。(朱山則行、碧児労働委員)

「道の日」恒例の道路美化清掃活動参加

垣／低木の刈込み等をメイン作業として実施。他の参加者が清掃および付帯等を行ない、暑い日でした

が無事活動を終了することが出来ました。

しかし「道の駅」という人が多く集まる場所の割りに、樹木管理が

あまりされない、という感じが作られました。造るだけではなく、その後の管理面においてもう少し計画的実施していくなければと思いました。(朱山則行、碧児労働委員)

中部支部

静岡農高生とポリテクセンターで 「知識・技能講習」「静農高現場実習」

岡にて静岡農業高校の環境系生徒
の体験学習の締めとして生徒二十
名で静岡農業高校の環境系生徒
の協力を頂き、メインの緑地の管理
の体験を行ないましたが、今年

八月三十日、ポリテクセンター静
岡にて静岡農業高校の環境系生徒
名にて生徒の体験学習を兼ねた奉
仕活動を実施しました。
当センターでは十七年度にも活動
の協力を頂き、メンバの緑地の管理
の協力を頂き、今年も活動を行な
いましたが、今年



支部会員と農高生とのミーティング



さっぱりとした植込



作業前



きれいになった遊歩道



作業前

度はセンターのほぼ全域に亘るアリ
の高中木の剪定、低木の刈込み、広
場等の草刈り等をほぼ一日かけ実
施しました。

今回参加された生徒さんは「おいて
は男女別の人数にて女性の数が多く、以前は圧倒的に男社員多うな」
の業界にも女性が普通に就業でき
る工種が多彩になってきたのかと感
じました。

作業開始当初は多少苦さも和ら
ぎを感じましたが、時間が経つにつ
れ暑さも増し、生徒さんの体調が
気になりましたが特に問題も無く
作業を終了する事が出来ました。

生徒さん達においてはまだ慣れな
い実技作業のようで戸惑いも感じて
いたようですが受け入れ業者の相
当者や一緒に作業した業者さん達

の指示を守り一生懸命に作業を行
っていたようでした。
終了時にはセンター担当者より御
礼の挨拶もあり、自分達の行った作
業において充実感や満足感も得ら
れたものでした。

生徒さんたちの体験談は改めて
掲載する予定ですがどうのう体
験にならなか葉落です。(栗山則
行 営労働委員)



シュレッダーで枝葉を粉碎



ツゲの剪定 心も丸く

れたのではないかと思われます。
生徒さんたちの体験談は改めて
掲載する予定ですがどうのう体
験にならなか葉落です。(栗山則
行 営労働委員)



道行く人に心を込めて



「マユミ」



奉仕活動に汗を流した支部の方々



保護・増殖を説明する観察会

二月月中旬発芽をし始め三月二十日頃より四月十日頃まで約八〇〇〇m²に約五〇〇株が紫一面に咲き誇ります。

五月月中旬種子が落果し始める、エライオソームの物質ミツバチ、ショウ等のボリネーターにより受粉いたします。

同様です。種子は翌年より発芽を繰り返し約八年の年月を経て、葉が一枚になった所で開花する散布型植物で他にスミレも

ギンラン、ヤマユリ等が増えていますことは会員一同喜んでおります。

また、上記土地の買い上げを目的に近々NPO法人を設立する予定でありますので、皆々様には御覧いただき、また御協力の程よろしくお願ひいたします。

(小林昌二)
静岡県造園整備士会事務局長
富士宮カタクリドリースト会事務局長

「道の日」道路美化清掃奉仕

西部支部

今年八月十日、国土交通省の

道路ふれあい月間「道の日」の道路美化清掃奉仕活動に県造園西部支部会員が参加した。浜松市緑原町国道一号特車基地に集合し、その日は、台風一過真夏の日ざしが照りつける暑い日々各員は持ち寄った刈払機やカマを持ち、指示された国道沿いの雑草の刈払い処理、又は、捨てられた空カン、ビニール袋等を手際よく収集し、時間いっぱい活動に参加した。(鈴木寛

西部支部長)

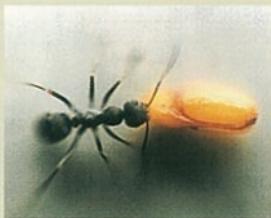
カタクリ

富士宮のカタクリトラストの会は発足して五年、渡辺定元先生指導のもとまた若林淳之介大名管教授を代表に

地方の方々約三十名程でカタクリの保護増殖、自生地の買上げ運動を目的に設立いたしました。



みごとな群落が保護されています



アリとの共生

はないが、現在の環境にのみ生育するユリ科のカタクリを後世に残すために、草刈防護柵の補修・播種、また期間内は盗掘防止、案内説明等のボランティア活動を行っています。この活動を始めたことで他の野草、キンラン、

のボランティア活動を行っています。この活動を始めたことで他の野草、キンラン、

協会日誌

平成18年

※協会主催

月 日	行事又は会議	月 日	行事又は会議
平成18年		9月22日	静岡県造園施工管理技士会常任理事会
9月 4日	※正副会長会議	9月25日	※シニアワーク緑樹管理講習会(富士会場)開講式
9月 5日	※技術委員会	10月 2日	公益法人制度改革に係るセミナー
9月 7日	※副会長会議	10月 5日	2006住み博・静岡県住宅展式典
9月11日	佐藤のぶあき氏との集い	10月12日	※第3回総務企画委員会
9月15日	※第一回理事会	10月25日	※屋上一壁面緑化技術研修会(県外視察)
9月20日	※第三回啓発労働委員会	10月27日	建設産業構造改善推進のつどい
9月20日	静岡県建設業労働災害防止大会	10月27日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会
9月21日	静岡県道事務所ワークショップ参加(技術委員長)		

机上に1冊どうぞ

好評の「新街の樹200選」リニューアル発刊!!



A5全ページ鮮明なフルカラー265頁

- ★樹木の特性
- ★適地適木
- ★適切な樹木管理

申し込み先
静岡市葵区呉服町二の二(呉服町ビル)
(社)静岡県造園緑化協会
TEL 054-2253-0586
FAX 054-2251-9205

定価2500円(税込)

お知らせ

●新年賀詞交歓会

とき 平成十九年一月十一日(木)
ところ ホテルアソシア静岡ターミナル

(社)静岡県造園緑化協会通常総会
とき 平成十九年四月二十六日(木)
ところ ホテルアソシア静岡ターミナル
(静岡市葵区黒金町)

話題の図書紹介

「静岡県草と木の方言」

野口 英昭著 静岡新聞社発行

定価2000円(税別)



★静岡県内に自生または植栽されている植物約1100種、方言約7500種を収録。

静岡県 草と木の方言



静岡新聞社

A5版 358頁

問い合わせ先
静岡市葵区呉服町二の二(呉服町ビル)
(社)静岡県造園緑化協会
TEL 054-2253-0586
FAX 054-2251-9205

話題の森

コウヤマキ(高野樺)

九月六日に誕生された秋篠宮家の男子のお名前が「悠仁」に、お印が「高野樺(こうやまき)」に決定した。

樹はまっすぐ上に伸び四〇メートルにもなる常緑針葉樹。マツ目コウヤマキ科の一科一属一種でヒマラヤスギ、ナンヨウスギと並び世界三大公園樹に数えられている。静岡県での分布や方言などの情報をひろってみた。



コウヤマキ(高野樺)
国指定天然記念物(一九七二・三・三〇)
愛知県作手村大字鶴ヶ谷字門前
翔龍山甘泉寺(一七七〇年開山)



樹齢六〇〇年 目通り六〇メートル
樹高二七七メートル 根通り八五五メートル
撮影・市川明広 啓発労働委員

SCIADOPITYACEAE コウヤマキ科

樹皮はスギ型。葉は2枚ずつ左右から合着したものが、枝に輪生する。球果の鱗片は木質で、ラセン列に互生する。種子は鱗片ごとに7~9ずつつき、狭い翅がある。

Sciadopitys verticillata (Thunb.) Sieb. et Zucc.

コウヤマキ

葉は長さ6~15mm、10~45ずつ輪生する。球果は長さ6~8cm、暖帯山地に希。高1,200~1,400mに稀。東候・糸瀬・信濃高岡付近にあった。

遠・寸又谷の支流の栗代川・佐久間(大洞山・鉢木久屋)・天竜(熊の平)・三ヶ日(平山、約300m)にわずかあった。東海道すじで分布東限。

(『静岡県 植物史』杉本順一著)

こうやまき

材には油脂分が含まれていて年輪が細かく、水湿に強く風呂桶や船材として珍重された。樹皮はマキ皮で、縦に長く裂けて赤褐色、水回りの漏水止めに使った。カラカサマツは、節に見える短枝に葉が輪生することからと思われる。造園木として世界的に高い評価を得ていて、狭い円錐形の樹冠や赤褐色の樹皮などが美しいとされる。

和名は、この木が高野山に多いことから。高野の六木、木曾の五木の一つに数えられる。静岡県では本川根町、佐久間町、天竜市、三ヶ日町に自生する。清水市大平には、県指定の天然記念物がある。(『静岡県 草と木の方言』野口英昭著)

こうやまきの方言

こうやまき科・木 no.358

アヌナロー	伊豆(2)(3)(35)
カナマツ	駿河(1)(2)(35)西駿(3)
カラカサマツ	駿河(1)(2)(3)(35)西駿(3)
キンマツ	駿河(1)(2)(35)西駿(3)
クスマキ	駿河(1)(2)(35)
クチヤマキ	静岡(1)駿河(2)(35)西駿(3)
コヤマキ	小山町(452)引佐町(983)
ゼニマキ	駿河(1)(2)(35)西駿(3)
ソノバマキ	遠州(3)秋葉山(1)(35)
トマキ	静岡県(1)(35)駿河(2)遠州(3)
ホンマキ	駿河(2)西駿(3)遠州(2)(3)



針葉樹

コウヤマキ(コウヤマキ科)

Sciadopitys verticillata

和歌山県の高野山に多く、ここからコウヤマキの名がある。日本特産、世界の三大公園樹のひとつに数えられている。

特 性 ●常緑高木30~40m ●胸高周に強い

●幹部が丸木にならんと掻きむけ ●移植難

用 途 ●巨木樹 ●公園樹 ●活版

特 徴 ●本州の山地に育つ ●乾燥地にも耐える

●透湿性弱い ●根瘤菌弱い ●萌芽力弱い

禁 禁 ●樹皮剥ぎ ●葉(通年) ●葉(通年)

特 性 ●巨木樹 ●公園樹 ●活版

禁 禁 ●本州の山地に育つ ●乾燥地にも耐える

●透湿性弱い ●根瘤菌弱い ●萌芽力弱い

その他の ●樹皮剥ぎ ●葉(通年) ●葉(通年)



静岡市葵区
駿府公園(内堀)